

QuickTime の使い方

こんにちは、松下です。

今回は、QuickTimeの使い方について解説していきます。

QuickTimeとは、Macに標準装備されている動画アプリで、主にWEBカメラで自分を撮影したり、ナレーションの音声を録音したり、パソコンの画像をキャプチャリングするためのアプリになります。

これから、QuickTimeの3つの使い方についてそれぞれ解説していくので、最後までしっかりと聞いていただければと思います。

それでは、張り切って参りましょう！

QuickTimeの使い方のひとつ目は、WEBカメラで自分を撮影する方法です。

まず始めに、Macのアンダーバーメニューの顔マークをクリックします。

するとフォルダが開きますので、左メニューの中から「アプリケーション」をクリックします。

すると、アプリケーションのフォルダが開きますので、その中から「QuickTime」をクリックします。

すると、QuickTimeが開きますので、左上のメニューの中から「ファイル」を選択し、さらに「新規ムービー収録」をクリックします。

すると、カメラが起動するので録画ボタンを押せば撮影を開始することができます。

撮影が終了したら、再度左上のメニューの「フォルダ」を選択し「保存」をクリックすれば、撮影した動画を保存することができます。

次に、QuickTimeの2つ目の使い方は、ナレーションの音声を録音する方法です。

先ほどと同じようにQuickTimeを起動します。

そして左上のメニューから「ファイル」を選択し、その中の「新規オーディオ収録」をクリックします。

すると、録音画面が起動するので、録音ボタンをクリックするとナレーションを録音することができます。

ナレーションが終了したらストップボタンを押して、再度左上のメ

メニューから「ファイル」を選択して「保存」をクリックすれば、録音した音声ファイルを保存することができます。

次に、QuickTimeの3つ目の使い方は、パソコンの画面をキャプチャリングする方法です。

先ほどと同じようにQuickTimeを起動します。

そして左上のメニューから「ファイル」を選択して、その中の「新規画面収録」をクリックします。

すると、録画画面が起動するので「収録」をクリックすると、画面の録画を開始することができます。

録画が終了したらストップボタンを押して、再度左上のメニューから「ファイル」を選択して「保存」をクリックすれば、動画ファイルを保存することができます。

以上が、QuickTimeの3つの使い方になりますが、いかがだったでしょうか？

QuickTimeは、Macを使っている方には非常に役に立つアプリなので、ぜひ覚えて活用してみてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。